



福岡未来創造キャンプ

On Your Mark!

— 新たな自分へ Get Set! Go! —

2022 Spring

at 学校法人 立花学園 立花高等学校

CLOSING
CEREMONY





CONTENTS

- P.3..... ごあいさつ
- P.4~5 プロローグ
- P.6~7 大学生カウンセラー紹介
- P.8..... シニアカウンセラー・ゲスト・海外学生リクレーター紹介
- P.9..... 参加高校一覧
- P.10 1日目[3月22日(火)]
- P.11 2日目[3月23日(水)]
- P.12 3日目[3月24日(木)]
- P.13 4日目[3月25日(金)]
- P.14 5日目[3月26日(土)]
- P.15~17 スナップ写真
- P.18~19 カウンセラーからのメッセージ
- P.20~21 参加者・保護者・協賛企業の皆さまの声
- P.22 スナップ写真
- P.23~27 協賛ページ

ごあいさつ

Greeting



一般社団法人
福岡県中小企業経営者協会連合会 会長
小林 専司



福岡未来創造キャンプ On Your Mark!
実行委員長
安武 健一

変化のきっかけとなるグローバルキャンプ

「福岡未来創造キャンプOn Your Mark!」は、2016年から開催しました本キャンプの前身である「TOKIHA」サマーキャンプを含め今回で6回目となり、多くの卒業生を輩出してきました。今年は、対面式で実施するかオンラインで実施するか直前まで議論しました。多くの対面実施の希望の声もあり、感染対策を徹底しての実施に踏み切りました。新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が解除された3月22日から26日の5日間、立花高校で開催しました。

今回は、海外からの学生はオンラインでの参加、宿泊は濃厚接触を避けるため近隣のホテル、食事は黙食など制限のある中での実施でしたが、画面越しではないコミュニケーションをとることができた参加高校生は、今までの心に秘めた思いを一気に大きな力で表現してくれました。時には、大きな声で笑い合い、ぶつかり合い、涙もありましたが、自分の思いを受け入れてくれる大学生カウンセラーや仲間に会え、堂々と自分の偉業を発表する姿は、多くの見学に来た大人を感動に導きました。

今回も、オックスフォード大学、トロント大学など世界トップの大学生と交流することができ、社会課題やSDGs、そして自分と向き合う事の大切さを学び、自ら気づき、考えて行動に移せるひとなるようなプログラムを実施しました。チームをつくり発表した事で、新たな化学変化が起こりとても驚いています。

指導するシニアカウンセラー1名、世界トップクラスの大学生15名、九州大学を中心とした日本の大学生21名で運営してまいりました。この事業を福岡の地で定着し継続することによる人づくりは街づくり、街づくりは国づくりに繋がると確信しております。

最後に、今回ご尽力いただいた関係者の皆様、ご協賛を頂きました皆様に心より敬意と感謝を表したいと思います。本当にありがとうございました。

2年ぶりのリアル開催

昨年より少し落ち着きつつあったコロナも、オミクロン株の発生により開催ギリギリまで予断を許さない状況でしたが、出来る限りの対策を講じることで、国内組は2年ぶりのリアル開催を実現することができました。そして、今回はこれまでのリアル開催、オンライン開催での経験をもとに、全てのプログラムを5日間のキャンプだけで行うのではなく、1ヶ月前からオンラインによる前準備を行うことで、集まってからの5日間は、より時間を有効に使うことが出来たのが進化した点ではないかと感じています。

今回のキャンプでは、まずは自分自身を振り返り、そのうえで関心事の近い仲間とチームを組んで「未来に自分たちが成し遂げた偉業」をシミュレーションし、最終日に自分自身がどのような立場でその偉業に貢献したのかを英語で発表するというものでした。ここで全てをお伝え出来ないのが残念ですが、それぞれの個性が活かされた、とても面白いプレゼンになりました。

私たちがこのキャンプで一番大事にしていることは「高校生達が安心して発言できる場づくり」です。ポジティブな空気感の中で、どんな発言に対しても否定することなく受け入れる…そのうち高校生達も、普段の生活の中では語らないようなことも、堂々と発信するようになり、それに共感した仲間たちと、自らが掲げた未来の偉業に向かって力を合わせていく…そんなプロセスの中で、これから自分の踏み出す1歩を見つけて欲しいと考え、設計しました。

個人的にはどんどん海外に出て行って欲しい!守られていない世界でこそ、大きく成長し、真の自分を発見できるとも思っています。そんな中から色々な企業や団体、あるいは自ら起業して世界に貢献する人材になってくれたら…そう強く願っています。参加してくれた高校生の皆さん、まず1歩を踏み出しましょう!私たち大人はいつでも頑張る皆さんを応援しています。

最後にコロナ禍にもかかわらず、この事業を縁の下で支えていただいた協賛企業様をはじめ、この事業に関わっていただいた全ての方々からのお礼を申し上げます。

プロローグ

Prologue

キャンプ開催に至った背景

グローバル化が急激に進んでいる現代社会で、グローバルに活躍できる人材の需要がますます高まってきている中、都心部ではすでに多くのグローバル人材育成のための仕組みや事業が参入しているものの、九州(福岡)をはじめ地方都市では、まだまだその機会は多くないのが現状です。
このような状況を変え地方でもグローバル人材を育成する環境を整え、地方に眠る真のネクストグローバルリーダーを発掘したい、という思いから「福岡未来創造キャンプ On Your Mark!」は始まりました。



福岡未来創造キャンプ
On Your Mark!
新たな自分へ Get Set! Go!

事業目的



- 1. ネクストグローバルリーダーの育成**
国際社会で堂々と発言し、行動出来る真のネクストグローバルリーダーを育成する
- 2. 福岡でグローバル人材を育成する環境を作る**
グローバルネクストリーダーを育成する責任がある大人(地域社会、教育機関、親)に育成のための環境(留学、英語教育、リーダー育成)作りの必要性を感じてもらう

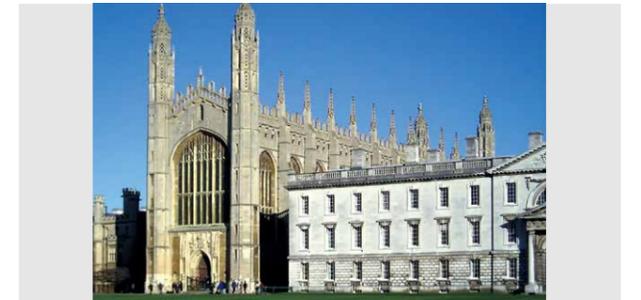
組織図

大会会長 一般社団法人 福岡県中小企業経営者協会連合会 会長 小林 専司	大会副会長 一般社団法人 福岡県中小企業経営者協会連合会 副会長 倉重 一男	実行委員長 一般社団法人 福岡県中小企業経営者協会連合会 安武 健一
顧問 福岡県知事 服部 誠太郎 元福岡県知事 麻生 渡 福岡市長 高島 宗一郎 久留米市長 原口 新五 福岡県議会議員 加地 邦雄 参議院議員 松山 まさじ 福岡県教育委員会 教育長 吉田 法稔 福岡県私学協会会長 八尋 太郎 学校法人 中村学園 理事長 中村 量一	後援 ●福岡県 ●福岡県教育委員会 ●福岡市 ●福岡市教育委員会 ●北九州市 ●北九州市教育委員会 ●久留米市 ●久留米市教育委員会 ●在福岡アメリカ領事館 ●福岡県私学協会 ●一般社団法人福岡県私学教育振興会 ●一般社団法人福岡青年会議所 ●NPO法人 アジア太平洋子ども会議・イン福岡 ●九州大学 ●九州朝日放送株式会社(KBC) ●株式会社西日本新聞社 ●ウォータードラゴン財団	実行委員会 ●福岡県議会 ●福岡市議会 ●福岡県人づくり・県民生活部私学振興・青年育成局 私学振興課 ●福岡県教育庁教育振興部高校教育課 ●福岡県私学協会 ●久留米市教育委員会 ●NPO法人アジア太平洋子ども会議・イン福岡 ●APAMAN株式会社 ●株式会社九州博報堂 ●株式会社LIXIL ●株式会社福岡銀行 ●株式会社西日本シティ銀行 ●株式会社西日本新聞社 ●九州朝日放送株式会社(KBC) ●株式会社日本旅行 ●九州大学 ●福岡女子大学 ●一般社団法人 福岡県中小企業経営者協会連合会 ●株式会社 FUN WORK ●日本航空株式会社 ●福岡女学院大学
共催 公益財団法人 福岡県教育文化奨学財団	学生部門 ●海外の大学生 15名(オックスフォード大学、トロント大学 他) ●九州の大学生 21名(代表:大坪 鈴)	

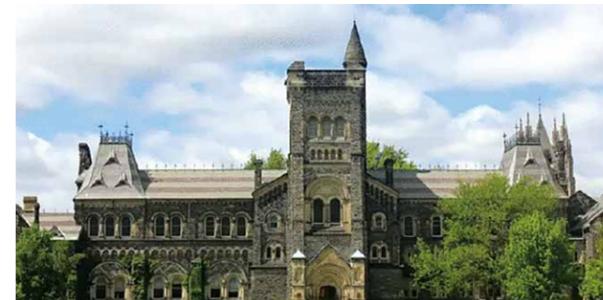
海外側カウンセラーの主な出身大学



★オックスフォード大学
1167年創立。
イギリスの大学都市、オックスフォードに所在する総合大学です。11世紀の末に大学の礎が築かれていることから、現存する大学としては世界で3番目に古く、英語圏では最古の大学です。また、ハーバード大学、ケンブリッジ大学、スタンフォード大学などと並び、各種の世界大学ランキングで常にトップレベルの優秀な大学として評価され、世界有数の名門大学といわれています。また、イギリス伝統のカレッジ制を特徴とする大学で、貴族の大学としても有名です。



★ケンブリッジ大学
1209年設立。
イギリスの大学都市、ケンブリッジに所在する総合大学です。イギリス伝統のカレッジ制を特徴とする世界屈指の名門大学です。創設されて以来、強いライバル関係にあるオックスフォード大学同様に古い歴史をもち、両校の間では、スポーツなど各種の親善試合が頻繁に行われています。大学ランキングではイギリス国内1位に評価されています。入学難易度も最も高く、近世以降の人類史において、社会の変革に大きく貢献したニュートンやダーウィンなど数々の著名人を輩出しています。



★トロント大学
1850年設立。
カナダ、オンタリオ州トロントに本部を置く州立大学です。1827年に創設されたキングス・カレッジから発足し発展してきたカナダを代表する名門の総合大学であり、カナダ最古・最大の大学です。学部は理工学、法学、教育学、経営学・商学、医学、看護学などカナダトップの17学部、13の付属病院、19の大学院、300以上のコースがあり、世界レベルの研究機関として知られ、10人以上のノーベル賞受賞者や女性宇宙飛行士など世界で活躍する人材を数多く輩出しています。



★カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)
1919年創立。
アメリカ、カリフォルニア州ロサンゼルスに創立された総合州立大学です。パブリック・アイビーと称される世界有数の名門公立大学の中でも大変人気の高い大学であり、カリフォルニア大学(UC)の中で最も学生数も多く、アメリカの大学の中で一番志願者数が多いほどです。“Optimism”が同校のDNAであるとし、実績に甘んじることなく時代に応じて何が可能かを常に再定義し、前進し続けることができるよう、生徒に教育、研究、コミュニティーサービスなどの機会を提供することを重視しています。

大学生カウンセラー紹介

College Counselor

今回のキャンプで、より深い学びを高校生が得るために寄り添い、サポートしました。



Jutaro Takagi
Syracuse University



Eiji Hibikawa
University of Toronto



Jing-Yuan Lee
University of Cambridge



Zuleika Martinez
University of California Los Angeles



Janeen Plomnadon
University of Colorado



近藤 菜美希
九州大学(共創学部)



渋谷 歩乃果
九州大学(共創学部)



白川 智梨
九州大学(共創学部)



竹石 明生
九州大学(法学部)



楯林 英一郎
九州大学(医学部)



Aakriti Dua
University of California Los Angeles



Jeremy Garvida
University of Washington



Miranda Magan
University of California Los Angeles



Niamh Keegan
University of Oxford



Matt Pawlik
University of California Los Angeles



冨永 凜
九州大学(共創学部)



久佐木 葵
九州大学(共創学部)



広橋 莉々佳
九州大学(共創学部)



古野 絢太
九州大学(経済学部)



宮崎 朋実
九州大学(医学部)



Robert Vilkelis
University College London



Amy Van Beest
McGill University



Jasmine Chopra
University of Toronto



Elaine Ma
University of Toronto

Ujjawal Dugar
Oxford University



大坪 鈴
西南学院大学(外国語学部)
学生リーダー



大津 亘平
九州大学(工学部)
オペレーションリーダー



宮下 朋葉
福岡女学院大学(現代文化学科)
オペレーション



레이크 沙羅
九州大学(共創学部)



Maina Salome
立命館アジア太平洋大学



西 健志
立命館アジア太平洋大学

海外側大学生
日本側大学生



坂田 結衣
福岡女学院大学
(人文学部)



江川 愛可
福岡女子大学
(国際文理学部)



Eli Claggett
九州大学
(サイバーセキュリティ研究生)



熊丸 一平
九州大学大学院(理学府)



加來 優梨亜
西南女学院大学(観光文化学科)
オペレーション



シニアカウンセラー紹介 Senior Counselor

教育コンテンツの設計及び運営を専門家として関わって頂き、大学生カウンセラーの指導も含め5日間全体をリードして頂きました。



元 美和

SPRINK株式会社 代表取締役

福岡市出身。高校生の時Washington D.C.で開催されるFuture World Leaders Summitに日本代表団として参加し、国際社会に関心を持つ。London School of Economics and Political Science (LSE)にて国際関係学修士号を取得後、2015年に地元九州の経済団体に入社。主に国際事業室の責任者として海外の政府組織や経済界と、九州の地域企業を繋げる役割に従事。2019年に韓国に渡り、国立釜慶大学の産学連携本部にて大学における海外企業との事業連携を担う。2020年4月にSPRINK株式会社を設立。海外企業の製品やサービスを日本市場に展開するサポートをすると同時に、その国の文化や人を紹介する事で多様な社会形成を目指す。

海外学生リクルーター紹介 Overseas student recruiter



Stephane E. Fouche

合同会社 Hako 代表取締役

カナダのモントリオール生まれ、ハイチ育ち。ハーバード大学卒。12歳の頃、ハイチの政変でアメリカのニューヨークへ移住。九州大学の国費外国人留学制度を活用し、日本の在住経験もある。証券会社、IT企業、複数スタートアップ企業を歴任。他活動として、Harvard College Japan Initiativeの名誉代表、小松サマースクール代表理事も務め、ビジネスのみならず、教育分野において幅広い知見を有する。

ゲスト紹介

Guests

英語力の向上のみならず、留学すること、勉強することの楽しさを伝え、また自分を知ることで将来の夢を深め、新たな「気づき」を得るため、外部より講師を招いてお話を伺いました。



武田 鉄矢

俳優、歌手、タレント、司会者、作詞家

名誉学位・称号は名誉学士(福岡教育大学)。名誉漢字教育士(立命館大学)。長崎市亀山社中記念館名誉館長。フォークグループ・海援隊のボーカル・リーダー。代表作に「母に捧げるバラード」、「あんたが大将」、「人として」、「贈る言葉」、「思えば遠くへ来たもんだ」(いずれも海援隊)などがある。77年の山田洋次監督による『幸福の黄色いハンカチ』での演技が注目され、ドラマ『三年B組金八先生』シリーズなど、俳優としても数々の名作を世に送り出す。



松田 悠介

Crimson Education Japan
代表取締役社長
Crimson Global Academy
カントリーマネージャー

大学を卒業後、体育教師として中学校に勤務。体育を英語で教える Sports English のカリキュラムを立案。その後、千葉県市川市教育委員会 教育政策課分析官を経て、ハーバード教育大学院(教育リーダーシップ専攻)へ進学し、修士号を取得。卒業後、Pricewaterhouse Coopers Japanにて人材戦略に従事し、2010年7月に退職。退職後、全国で厳しい環境に置かれている子どもたちの学習支援を展開する Learning For All を設立し、2014年に独立法人化。2012年からはTeach For Japan の創設者として日本国内の教育課題の解決に取り組み、2016年6月にCEOを退任。2018年6月にはスタンフォードビジネススクールで修士号を取得。2018年7月にスタンフォード大学の客員研究員に就任し、あわせて日本人のアメリカやイギリスのトップスクールへの留学支援を展開するCrimson Education Japan の代表取締役社長、オンラインのインターナショナルスクールCrimson Global Academy の日本代表に就任する。著書に「グーグル、ディズニーよりも働きたい「教室」」(ダイヤモンド社)。



井口 剛志

株式会社ベンナーズ
代表取締役

長崎県出身、福岡県育ち。高校を中退し、アメリカの高校へ編入。ポストン大学でアントレプレナーシップと経営学を専攻。日本の水産業界が抱える課題を解決するために、2018年4月に株式会社ベンナーズを創業。Fukuoka Growth Nextに入居し、「日本の食と水産業界を守る」というビジョンのもと、魚の売買を効率化した水産物流通システム「Marinity」、未利用魚を加工したお魚サブスク「Fishlle!」などの事業を展開。「獲る人よし、食べる人よし、そして社会よし」の本当の意味で持続可能な新たな食のインフラを再構築することを目指す。

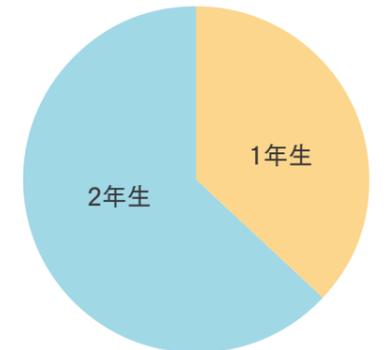
参加高校一覧

Participant List

高校名
福岡県立筑紫丘高等学校
福岡双葉高等学校
上智福岡高校
福岡女子商業高等学校
福岡県立久留米高等学校
福岡県立門司学園高等学校
福岡県立北筑高等学校
明治学園高等学校
福岡県立福岡高等学校
福岡県立朝倉高等学校
福岡県立ありあけ新世高等学校
中村学園女子高校
東筑紫学園高等学校
早稲田佐賀高等学校
福岡県立小倉西高等学校
筑紫女学園高等学校
福岡海星女子学院高等学校

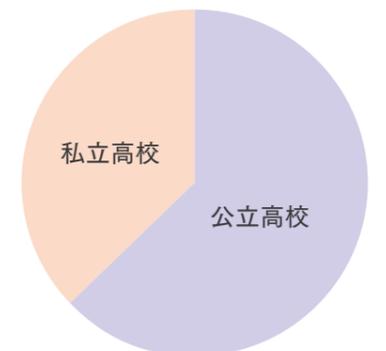
■学年の比率

学年	人数
1年生	17名
2年生	29名
3年生	0名
合計	46名



■公立高校/私立高校の比率

公立高校	人数
公立高校	29名
私立高校	17名
合計	46名



■参加者推移

2016年夏	42名
2017年夏	62名
2019年春	76名
2019年夏	76名*
2021年春	54人
2022年春	46人



※応募者100名以上

1日目 [3月22日(火)] 気づき Awareness

Day1 [3/22/2022 (Tue)]

時間	行事
6:45	
7:00	
7:30	
8:00	
8:30	
9:00	
9:30	
10:00	
10:30	
11:00	
11:30	
12:00	
12:30	
13:00	
13:30	
14:00	オープニング セレモニー
14:30	
15:00	校内ツアー
15:30	
16:00	アイスブレイク
16:30	
17:00	休憩
17:30	人生年表
18:00	
18:30	Things to Do throughout OYM
19:00	夕食
19:30	
20:00	アドバイザータイム
20:30	
21:00	移動
21:30	自由時間
22:00	

オープニングセレモニー(開会式)

これから過ごす5日間に、少しの不安とたくさんの期待を持ち、緊張した面持ちで立花高校にやってきたキャンパーたち。運営大学生一同によるお出迎えを受けた後、小林専司会長や服部誠太郎県知事、シニアカウンセラーの元さんからのご挨拶を頂きました!



校内ツアー

5日間お世話になる立花高校の校舎内をアドバイザーチームごとに巡りました。お題に沿ってWreck this journalを埋めていくというゲーム要素もあり、みんなで楽しみました。



アイスブレイク

「beast hunting」と「nonstop drawing」の二つのゲームを通して交流しました。キャンプ初日ということもあり、はじめはみんな緊張した様子でしたが、交流するうちに笑顔が見られるように。緊張を解す良い機会となりました。



人生年表

自分の人生プランを1枚の年表にまとめました。ここで考える個人の偉業(人生での1番の夢)が5日間の活動の中で重要となります。今までぼんやりと考えていた夢をはっきりとさせる良い機会にもなりました。



…全体のアクティビティ □ …チームやグループ、個人でのアクティビティ □ …アクティビティ以外の時間 □ …外部の方を招くコンテンツ

2日目 [3月23日(水)] 行動 Action

Day2 [3/23/2022 (Wed)]

時間	行事
6:45	起床
7:00	
7:30	朝食
8:00	
8:30	移動
9:00	朝のつどい(今日の手話)
9:30	
10:00	
10:30	模擬授業
11:00	
11:30	
12:00	昼食+
12:30	Free Advisory
13:00	アクティビティ
13:30	
14:00	休憩
14:30	留学生との交流
15:00	
15:30	休憩
16:00	My Great Achievment 「私の偉業」
16:30	
17:00	
17:30	
18:00	BBQ
18:30	
19:00	
19:30	掃除
20:00	アドバイザータイム
20:30	
21:00	移動
21:30	自由時間
22:00	

模擬授業

大学生カウンセラーが大学で学んでいることについて授業をしました。社会・環境・経済、さまざまな分野の授業が盛り沢山でした! 分野の専門的な話だけでなく、これからの進路など人生に関わることで、学びの多い時間となりました。



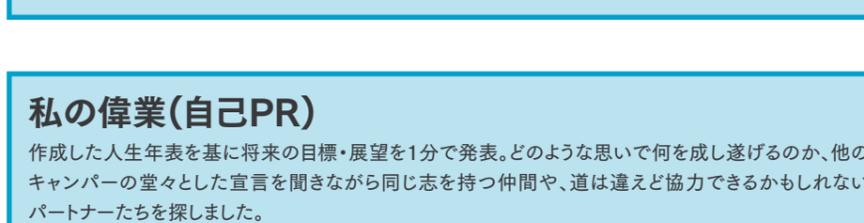
アクティビティ

4チームに分かれて大縄にチャレンジ。身体を動かしリフレッシュするとともに、チームワークを向上させる良い機会となりました。後半はダブルダッチにも挑みました。とても難しかったようですが、楽しく取り組むことができました。



留学生との交流

九州の大学に通う海外からの留学生たちと直接お話しした時間。それぞれの留学生たちがいる各「駅」で彼・彼女らのお話を聞いて回った後、ミニゲームに挑戦。続いて、キャンパーたちは直接留学生に質問をして回りました。最後にはこの時間で得たインスピレーションをグループみんなで一枚の絵に。コロナ禍で海外大の学生たちが来日できない中、英語でコミュニケーションを取れる貴重な機会を楽しみました!



私の偉業(自己PR)

作成した人生年表を基に将来の目標・展望を1分で発表。どのような思いで何を成し遂げるのか、他のキャンパーの堂々とした宣言を聞きながら同じ志を持つ仲間や、道は違えど協力できるかもしれないパートナーたちを探しました。



…全体のアクティビティ □ …チームやグループ、個人でのアクティビティ □ …アクティビティ以外の時間 □ …外部の方を招くコンテンツ

3日目 [3月24日(木)] 変化 Transformation

Day3 [3/24/2022 (Thu)]

時間	行事
6:30	起床
7:00	朝食
7:30	
8:00	移動
8:30	朝のつどい(今日の手話)
9:30	松田悠介氏講演「留学」
10:00	
10:30	パネルディスカッション 留学/就職/起業
11:00	昼食+ Free Advisory
11:30	
12:00	OYMクエスト
12:30	
13:00	
13:30	
14:00	
14:30	タレントショーの準備
15:00	
15:30	タレントショー
16:00	
16:30	
17:00	夕食
17:30	
18:00	アドバイザータイム
18:30	
19:00	移動
19:30	
20:00	自由時間
20:30	
21:00	自由時間
21:30	
22:00	自由時間

手話

キャンプを通して国際手話に挑戦!毎朝、短いストーリーを通して日常生活で使える単語を覚えていきました。覚えた手話でコミュニケーションを取っているキャンパーもいました!

松田悠介氏講演

教育分野においてグローバルに活躍されている松田さんに講演していただきました。各国の国境は開き始めています。高校生キャンパーもこの講演をきっかけに留学を実現可能なプランとして真剣に考えるようになりました。講演後にできた、松田さんに質問したいキャンパーの長蛇の列には流石に驚きました。



OYMクエスト

ペアになって巡った前半。将来の夢・目標である「偉業」をペア同士で共有しあい、真面目な話し合いながら、様々なミニゲームも巡っていききました。後半では2-3組のペアが集まりグループとなり、将来目指す立場は異なりながらも同じ「偉業」に向けてどのようなことができるか、プレストに頭を悩ませました…。でも、それもOYMクエスト最後にラスボス☆元さんの前で発表したら、「よかよか!」をもらったのでオールオッケー!



タレントショー

高校生キャンパーと大学生カウンセラーみんなで作る特技披露会。もちろん緊張したけれど、OYMでは、ありのままの自分でいいんだと安心できました。最後にはみんなでマカレナダンス! Hey Macarena~



…全体のアクティビティ □ …チームやグループ、個人でのアクティビティ □ …アクティビティ以外の時間 □ …外部の方を招くコンテンツ

4日目 [3月25日(金)] 創造 Creation

Day4 [3/25/2022 (Fri)]

時間	行事
6:30	起床
7:00	朝食
7:30	
8:00	移動
8:30	朝のつどい(今日の手話)
9:30	クラフトワーク
10:00	最終プレゼンテーションの準備
10:30	
11:00	サプライズ! 「贈る言葉」
11:30	
12:00	昼食+ Free Advisory
12:30	
13:00	井口剛志氏講演「起業」
13:30	
14:00	休憩
14:30	
15:00	最終プレゼンテーションの準備
15:30	
16:00	休憩
16:30	
17:00	プレゼンテーションリハーサル
17:30	
18:00	リフレクション
18:30	
19:00	夕食
19:30	
20:00	アドバイザータイム
20:30	
21:00	移動
21:30	
22:00	自由時間

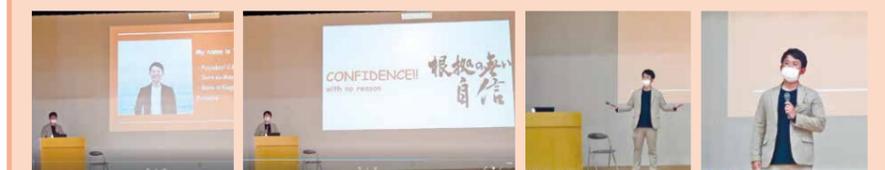
武田さん講演

金八先生でおなじみの俳優の武田鉄矢さんにご講演いただきました。ご自身の幼少期の経験談や幸せの黄色いハンカチをはじめとする映像作品の出演時エピソードから今後の人生の糧となるお話をしていただきました。



井口さん講演

株式会社ベンナズ代表取締役、井口剛志さんは高校を中退し、アメリカの高校へ編入、その後ボストン大学で学びました。起業のきっかけにもなった井口さんの過去のお話から、現在されているチャレンジまで、普段の生活を送っているだけでは聞けないようなお話を伺うことができました。井口さんはOn Your Mark!の前身、TOKIHA summer campにカウンセラーとして参加されており、過去のカウンセラーが現在のキャンパーにメッセージを送る胸熱な時間でした!



発表準備

OYMクエストで2~3組のペアで集まりつくったグループでの発表準備。発表までの時間が限られている中で、これまでのキャンプで考えたことを活かして、自分の夢、そしてグループメンバーそれぞれの夢を語り合いました。グループとしての夢、「偉業」を考える際には個人の夢を昇華することに難しさを感じるグループもありました。海外カウンセラーにフィードバックをいただきながら、時間の許す限り次の日の発表に向けて準備しました!



リフレクション(全体での振り返り)

キャンプも残るところ最終発表のみとなったDay4の夜。各々で作成した牛乳パックランタンを囲んで4日間のキャンプを通して学んだこと、伝えたいこと、あふれる思いを全員の前で発表しました。最後はOYMをかたどって親睦を深めました。



…全体のアクティビティ □ …チームやグループ、個人でのアクティビティ □ …アクティビティ以外の時間 □ …外部の方を招くコンテンツ

5日目 [3月26日(土)] 次の一歩 Next Step

Day5 [3/26/2022 (Sat)]

スナップ写真

Snapshot

時間	行事
6:30	起床
7:00	朝食
7:30	
8:00	移動
9:00	朝のつどい(今日の手話)
9:30	最終 プレゼンテーション 「私たちの偉業」
10:00	
10:30	
11:00	終了式
11:30	アドバイザータイム
12:00	解散
12:30	
13:00	
13:30	
14:00	
14:30	
15:00	
15:30	
16:00	
16:30	
17:00	
17:30	
18:00	
18:30	
19:00	
19:30	
20:00	
20:30	
21:00	
21:30	
22:00	

チーム発表「私たちの偉業」

5日間の集大成のチーム発表。キャンパーや保護者の方の前で緊張する中、みんな堂々と英語で発表できました。「私のチームとあなたのチームと一緒に活動したらさらに面白そう!」と言った声も聞こえてきました。チームだからこそ、より大きな目標も達成できるんだということを実感しました。



修了式

シニアカウンセラーの元さんのコメント、キャンプの振り返りのVTRで、会場は笑いと涙に包まれました。また、最後のアドバイザーの時間では、長いようであったという間だった5日間を振り返りました。お互いメッセージを書きあったOn Your Mark! Tシャツは、一生の宝物になりましたね!



アドバイザー

本キャンプではアクティビティをともにすることも多かったアドバイザーチームで毎晩集まって一日の振り返り。海外カウンセラーも時差を越えてオンラインで参加します。活動を通して感じたこと、学んだこと、明日の目標などを共有・話し合いました。



...全体のアクティビティ
 ...チームやグループ、個人でのアクティビティ
 ...アクティビティ以外の時間
 ...外部の方を招くコンテンツ

スナップ写真

Snapshot



キャンプを振り返って(カウンセラーの声)

Message from counselor

九州大学(医学部)

宮崎 朋実さん

大学生として学んだことは、できないと決めつけないこと、できることを見つける大切さです。これは実は高校生のキャンプの姿から学ばせてもらったことです。キャンプでは、自分の人生年表を作り、同じような目標をもつ仲間を見つけてチームを作り、またそのチームで大きな偉業を達成するという難しい課題がありました。正直、大学生スタッフとしてプログラムを作る側でも複雑なこの課題について議論するのは難しく、果たして高校生ができるのだろうかと思ってしまっていました。しかし、いざキャンプが始まると、時間も限られた中で、諦めることなく熱心に取り組んでいるキャンパーの姿に「自分が間違っていたな」と痛感しました。これからは最初から相手の能力を決めつけないで、難しいことにチャレンジしている人には「きっとできるよ!」と背中を押せるようになりたいと思いました。

しかし、できないと決めつけないことが大切と言っても、(現段階では)できないという現実には打ちのめされることもあります。例えば、キャンパーがキャンプ1,2日目に英語が出てこずに、日本語で会話しているという状況がよくありました。それを見て、私も英語だけで喋りかけて返答に困らせてしまうと、「自分は英語がしゃべれない」という意識づけをより強くしてしまうのではないかと危惧していました。しかし、キャンプ3,4日目になると、今わかる範囲の英語で最大限に喋ろうと頑張っているキャンパーの姿がたくさん見られるようになりました。また、そうしているうちに、1日目よりも少し表現力のある会話ができるようになっていっているなと感じました。「できない」と思っている中でも、「できること」を小さなことでもいいから、1つ1つ見つけていくことが大切で、それがまた次のより大きな「できること」に繋がっていくんだなと気付かされました。

大学生が高校生に何かを一方向的に与えるキャンプではなく、お互いが学び合えたキャンプになったのではないかと思います。

九州大学(法学部)

竹石 明生さん

実際に行動することの難しさと大切さに気付きました。

最終日の偉業インタビューの準備の際に、国境なき医師団の一員として偉業に関わるメンバーがいたのですが、肝心の、どうすれば国境なき医師団に加われるのか知らなかったみたいです。そこで、同じメンバーの一人が「電話してみよう」と、国境なき医師団のホームページに載っているお問合せ電話番号にかけようように促したのです。確かに、国境なき医師団について聞きたいことがあるのだから、該当機関に直接聞いてみるのが一番効率的な気がしますが、それを高校生がすぐに思いつき、行動に移したことに驚きました。実際に電話をするとなると多少の勇気が必要になると思います。そして、何より絶対に疑問を解決しようという熱量から偉業インタビューというコンテンツを通して、将来のことを深く、真剣に考えているのだなと伺えて、嬉しかったです。

実はその後、「電話したんだ、すごいね!」みたいな話をしていたら、ゲストスピーチの講師から教えてもらった留学プログラムに興味を持って、速攻そのプログラムに電話したというメンバーも出てきて、さらに驚きました。

九州大学(共創学部)

レイク 沙羅さん

今回のキャンプの運営を通して、チームワークに関する学びを得たことが自分にとっては大きな経験でした。

今まで、私が参加したことのあるプロジェクトベースでの集まり(何かのプロジェクトや企画がきっかけでできた繋がり)ではタスクをこなすこと・プロジェクトを進めることが優先事項で、タスクを投げ合い、TO DOをこなす関係性だと自分の中で割り切っている部分がありました。今回のOn Your Mark! の運営も(特に前半は)そのような意識で今まで通り割り切っていたのですが、キャンプ準備が進むにつれ、ただタスクをこなすという関係性ではなく、高校生に対して伝えたいことや共に見たい未来・ビジョン・想いを共有しあえる関係性の方がより良い内容を創りあげることができるようになると思うようになりました。ただその変化に気づきつつも、実際にどうすれば実現するかを知らなかったため、関係性に変化を起こすことなく準備が進み、キャンプ当日を迎えました。結果として、キャンプ最終日になっても運営を共に進めている大学生メンバーに本音で話すことができない自分を知り、小さく衝撃を受けていました。自分のどうしようもない弱さに気づいたことも、今回のキャンプの運営を通して得た大きな収穫の一つです。

特にこのキャンプでは、他者と協働して何かを創りあげることの必要性や大切さ、初対面の人(あまり親しくなかった人)に話しかける勇氣、自分の殻を破ってみることなどを高校生に訴えていたからこそ、その準備・運営をしている私たち大学生がまずそれらを実践できなければならなかったという反省が残ります。例えば、お互いのことをもう少し深く知ろうとしても良かったのかな(まだまだどんな人間性や個性を持っているのか分からない運営メンバーが多くいます)、どんな思いでこのキャンプに携わってきたのかな、と思うことが(キャンプは終わりましたが)あります。チームビルディングは一見コンテンツの充実度と関係がないように思われますが、されどチームビルディング・チームワークです。より良い内容の充実を図るためにも、共にプロジェクトを進める仲間に対してお互いが信頼しあえる・安心できるような空気感をつくりだしていけるように精進していこう、と学んだキャンプでした。

九州大学(共創学部)

白川 智梨さん

I realized that the most important thing is to keep on going. Actually, I gave up my dream for some reasons before the camp, but the strong feelings and shining eyes towards the future achievement of high school campers moved me. During the camp, I remembered why I found my dream and why I wanted to realize it when I was a high school student. There are many scenes that I remember and it is a little hard to choose one. What I remember the most is that some of the campers said "Whatever happens, I will not change what I want to do." This strong feeling will always cheer you and me up. Thank you for the great experience.

九州大学(共創学部)

久佐木 葵さん

初めは漠然とした夢を持っていた子が、自分が質問したことについて真剣に考えてくれ、最終的には具体的な夢を掲げている姿を見てカウンセラーをするやりがいを感じました。同時に、自分なりの答えを伝えてしまうのではなく、キャンパーのみんな自身で答えを見つけられるようにするという点に難しさや責任も感じました。

キャンパーの夢を通じて様々な分野の職業を知ることができたり、そして何より志の高い高校生の子達と関わることができて、自分も勉強や将来に向けてのモチベーションを得られたキャンプでした。

九州大学(共創学部)

富永 凜さん

このキャンプを通して私は、「人ってこんなに変わることができるんだ」ということを学びました。

キャンプ初日にキャンパーの皆さんを出迎えたとき私は、5日間という短い期間の中で私たち大学生スタッフは何ができるのだろうと不安に思っていました。成長や変化というのは、長いスパンの中でゆっくりと起こるもので、たった5日間では成長や変化を感じるのには難しいのではないかと考えていたからです。「変わりたい、このキャンプを自身が変わるきっかけにしたい」というみなさんの思いに応えられるのか。そんな不安な気持ちと共にキャンパーの皆さんと顔を合わせました。

しかしそんな心配は無用であると、キャンプが終わった今なら堂々と言うことができます。「人前に立つのが苦手で、大勢の前だと足が震えてしまう」と話していた子が、ステージ上でソロダンスを披露したり、はじめは海外カウンセラーと話すのを嫌がっていた子がキャンプ3日目の夜、事前に単語を調べて話す内容を考えてきて進んで話してくれたり、キャンプを通して私は沢山の成長を目にすることができました。キャンパー一人一人の気持ちや行動が、日に日に変わっていくのを見て感じた感動はキャンプが終わった今でも忘れられません。

たったの5日間でしたが、あんなに沢山の成長を見ることができたのは、キャンパーの皆さんが「こうなりたい」という意志を強く持ち、行動してくれたからだと思います。

九州大学(共創学部)

近藤 菜美希さん

カウンセラーとして参加し、得た学びの一つは、人に頼ること、何事もみんなと共有することの大切さです。

デイごとのMTGでは、一人一人がそれぞれタスクを持って取り組みましたが、私1人の力ではなかなか膨らまないアイデアでも他のメンバーと共有することで次々にいろんなアイデアが出てきました。一人一人が責任を持って1つのタスクに従事することも大切だけれど、より新しい良いアイデアを生み出すためにも、些細なことでもみんなと共有することが大切だと思いました。

九州大学(サイバーセキュリティ研究生)

Eli Claggettさん

Although I participated in this camp as a counselor, I believe I learned more from the high school students than they could have possibly learned from me. The best quality of this camp is the atmosphere it creates where participants are encouraged to be the change they want to see in the world. Before starting the camp, I expected that the counselors would need to facilitate discussions, generate ideas, and guide the campers down the path of thinking about their futures. However, this expectation was quickly proven wrong. I learned that the role of a counselor is not to mold the campers' experiences to fit our expectations, but to step back and support what the campers' decide for themselves. I learned that with a little encouragement, high school students will facilitate their own discussions, broaden each other's horizons, and plan futures more admirable than anything a counselor could come up with. I was amazed to see students learn how to lead conversations during the OYM Quest core room activities, sometimes not needing the guidance from a counselor at all. Likewise, I was amazed to see other students form social groups to continue working towards making a change in the world that are still active after the camp finished. By far, what I learned the most from this camp is the incredible vibrance of the dreams of an empowered high schooler.

九州大学大学院(理学府)

熊丸 一平さん

私はカウンセラー・教育者としての人間との関り方を学んだ。Day4、最終日の発表会に向けたグループ分け。少々尖ったグループの担当となった。正直気が重かった。発表テーマは得意とする分野ではなかったし、斜に構えた子が多い印象があった。議論になるのか、ほぼほぼ大学生ゴーストライターの発表にならないか。憂鬱であった。しかし始めてみてなんてことはない。皆内々に熱いものを持ちやつつではない、将来こうなったらおもしろいではないかと発想を広げながら積極的に議論を交わしていた。発表台本は流れや構成から英語の表現に至るまで大学生の手は借りず彼らが創り上げた。

私は教育の道を志しながら彼らの表面的な部分しか見ていなかった。先入観や指示への従順さ、こちらが用意した活動への取り組みといった薄っぺらいもの、言い換えれば我々のエゴで彼らを判断していた。彼らにきちんと向き合い、話を聞き、意図をくみ取って隣を歩けば別人のように活躍していた。私はカウンセラーであったが高校生から成長させてもらったように思う。

参加者・保護者・協賛企業の皆さまの声

Impression



門司学園高等学校 1年
芝 明音さん

私は今回初めてOYMキャンプに参加して、自分が期待していた以上のものを手に入れることができました。私がこのキャンプに参加したのは、ただ英語力を高めたかったからです。ところが、実際キャンプに参加してみると、自分の人生年表を発表し合う活動を通して、たくさんの高校生が世界で働くことを将来の夢にしているのを知り、とても大きな衝撃を受けました。また、日々のおしゃべりの中で、留学経験のある人や、とても素直な人など、たくさんのいい友達と出会い、今まで自分が無意識に持っていた固定観念が一気に崩れていくのが分かりました。私ももっと大きな夢を持っていいんだ!そう思いました。前まで将来の夢がはっきりしていませんでしたが、OYMでの視野の広がりを経て、今は外交官になりたいと思っています。OYMで、私の世界は受動から能動に変わりました。夢がなくても英語が苦手でも、もっとたくさんの高校生に参加してほしいです!



福岡女子商業高等学校 2年
福永 愛凜さん

私はこのOn Your Mark!に参加して、たくさんのことを学びました。このキャンプを知ったのは学校の先生の勧めです。もともと国際的な分野に興味があり、いろいろな人と交流しもっと英語を上達させたいという思いがあったので参加しました。このキャンプは毎日が英語づくしで、他の仲間たちも英語が得意な人が多く、英語が全くできない私は本当に困感しました。しかし、出来ないなりに英語で発信して伝わったときは本当に嬉しかったし、英語でコミュニケーションを取れることに楽しさを覚えました。このキャンプでは交流の場がとても多く、いろいろな価値観や見解を持った人たちと出会うことができました。行われるプログラムの中では自分の人生や将来の夢、環境問題などについて話し合う機会があり、他の仲間の意見を聞いて何度も驚かされました。宿舎に帰るとクタクタでしたが、なんだかそこにいる内にたくさん話しておかないともったいないような気がして宿舎でもずっと話をしていました。このキャンプではどんな意見も否定されず肯定されるため、発言しやすかったし何より自分の意見を受け入れてもらえることが本当に嬉しかったです。また、私はこのキャンプを通して人と出会うことの大切さを学びました。このキャンプには志が高い人ばかりで、出会う人々からたくさんのことを学び、私が将来本当にしたいことを明確にすることも出来ました。志が高い人たちと出会うことで、私自身とても刺激を受け、この仲間に出会えたことが一番嬉しかったです。このキャンプを実行するにあたって、協力してくれたたくさんの方々から心から感謝したいです。



中村学園女子高等学校 2年
糟谷 晴さん

今まで私は「ごみ拾いをしたい」と発言しても周囲には受け入れられないと思っていた。それは、冷たい目で見られるだけだと思っていたからだ。

しかし、On Your Mark!で私を認めてくれる人がいることに気がついた。「良いね!」「応援してるよ!」「はるの言葉で私の心動いたよ!協力する!」と言ってくれた。今まで話してこなかっただけで、受け入れてくれる人がいることを知って自信が持てた。1番嬉しかったことは、みんなが心の底から笑っていたことだ。BBQの時に「みんなの笑顔が咲く場所」だと感じて、私も自然に溶け込むことができた。

キャンプを終えて変化したことは、友人などが協力してくれるようになったことだ。母とビーチクリーンに参加し、マイクロプラスチックを目の当たりにして問題の深刻さを痛感した。周りの人に受け入れられなかったことも、勇気を持って話したり、行動を積み重ねたりすることで、段々と分かってもらえる。諦めなければ、思いは届く。On Your Mark!で私は新たな一歩を踏み出すことが出来た。

[筑紫丘高等学校 1年] 佐々木 寛太さんの保護者様

佐々木 恵美さん

息子が自ら興味を持って応募した福岡未来創造キャンプ。世界や九州の大学生が創るグローバルキャンプで、いろいろな高校生と関わり様々な経験ができることを楽しみにしていました。事前にオンラインで運営メンバーや参加者と顔合わせがあり、安心して参加することができたようです。

4泊5日は長いかなと思っていましたが、息子にとっては短く感じやすく、充実した表情で帰宅しました。大学生カウンセラーによる模擬授業やゲストスピーチ、大学生や留学生との交流、BBQなど、多彩なプログラムに大いに刺激を受け、特にチームでの発表が印象に残ったと話していました。さらに、キャンプ後も他校の高校生たちと交流が続いていることも、大きな収穫だと感じています。

コロナ禍で学校行事もままならない中、感染対策を徹底して合宿スタイルで決行いただき、かけがえのない経験になりました。実行委員をはじめ支えてくださった皆様に、心より感謝申し上げます。

福岡県 私学振興課

大安 弘薫さん

最終日の「私たちの偉業」をテーマにしたプレゼンは、一人一人の未来への真剣な思いが伝わるもので、聞いていて胸が熱くなりました。自分の目指す職業に就くことをゴールとせず、その職業に就き、何をやるのかも具体的に語られていて、プレゼンを通じて、元気をたくさんいただきました。高校生の皆様ありがとうございます!

プレゼンの際のチームワークがとてもよかったのも印象的でした。夢に向かって行動するきっかけとなり、そして、夢を応援してくれる仲間と出会えた素晴らしいキャンプだったのだらうと思います。キャンプを準備し、運営していただいた大学生及び実行委員会事務局の皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございました。



株式会社九州博報堂 常務取締役
釘町 豊さん

3月26日、楽しみにしていた未来創造キャンプ最終日のプレゼンテーションではあったが、この先世界はどうなってしまうんだらうと、憂鬱な気分が、立花高校に向かっていた。

社会課題が、益々複雑化・グローバル化していくなかで、戦争も起こり、果たして若い人たちは、明るい未来をイメージできるのだろうかと危惧していた自分もいた。

しかし、若いパワーは、そんな私の心配を見事に裏切ってくれた。言葉の壁を乗り越えて、文化や国籍、習慣などの異なる人たちと、相手の立場になって耳を傾け、互いにリスペクトし、チームで夢に向かってチャレンジしていく。会場はそんなエネルギーと思いやりの心で満ち溢れていた。

この日、59歳になったが、まだまだ若い人たちには負けられない、未来に向かって自分も新しいことにチャレンジしなくてはという気持ちにさせられた。

このキャンプを企画運営された多くの方々に感謝します。最高のプレゼントになりました。



スナップ写真

Snapshot



QSC

私たちは
約束します。

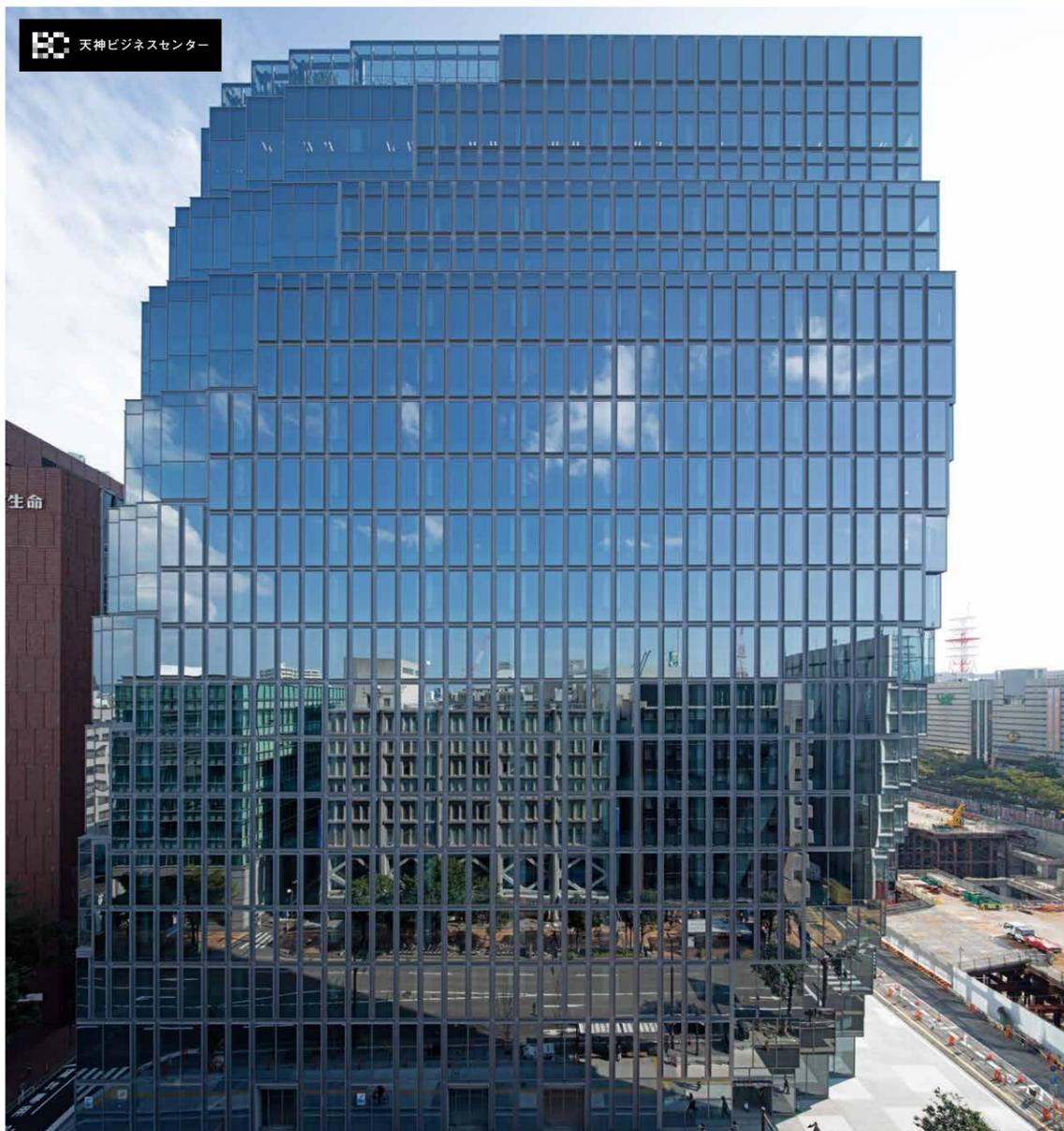
共通の品質
お客様へ安心と安全を
提供します

お客様のために
お客様にとって理想のお部屋を
ご紹介します

すべてきれいに
お客様へ居心地よい空間を
提供します

Quality
Service
Cleanliness

Dramatic Communication
アパマンショップ
NETWORK



揺るがぬ信念で魅力ある街づくり、 地域づくりに取り組みます。

時代は揺れ動きます。しかし、動かない価値、いつの時代にも認められる価値は存在するのではないのでしょうか。「誠実」「信用」はその一つでしょう。これまで当社は歴史の判定に耐えられる事業を目指し、福岡を拠点に幅広い事業を展開してまいりました。「時代より一歩前」、「既存のものとはちよっと違う」をコンセプトにした街づくりが、地域・国内はもとより、アジアのお客様にも評価をいただいております。今後も地域の人々と思いを一つにして、伝統、文化、自然に適応した街づくり、地域づくりに邁進してまいります。

FJ 福岡地所株式会社
福岡市博多区住吉 1 丁目 2-25 <https://fukuokajisho.com>

おかえり。



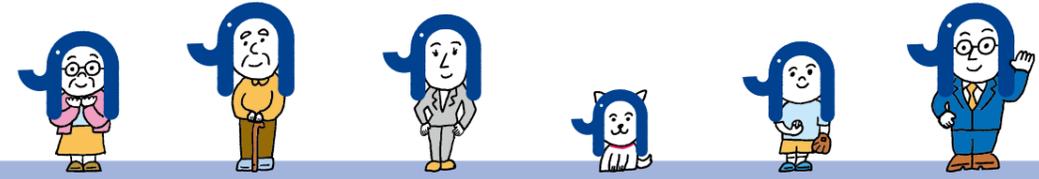
ただいま。



喧嘩をしたって、期待を裏切られたって、少し言葉が足りなくて、届かない想いがいっぱいあったって、**ただいま。**
その短い挨拶だけでモヤモヤがほじめてゆくのが家族なのかなあ…。
私たち三好不動産は、住まう皆様とオーナーの皆様と地域の皆様と社員の全てと何があっても一緒にいることを選択します。その出会いとつながりに感謝し続けることを誓います。親から子へ信頼のおつきあいは、本当にできているのか!? 真面目に問い続けることにします。**ただいま。**
ホントの家族じゃなかったってホントの家族みたいだね。
三好不動産はこれからも感謝を込めて「all for family」です。

三好不動産のキャラクターが「家族」になりました!!!

all for family



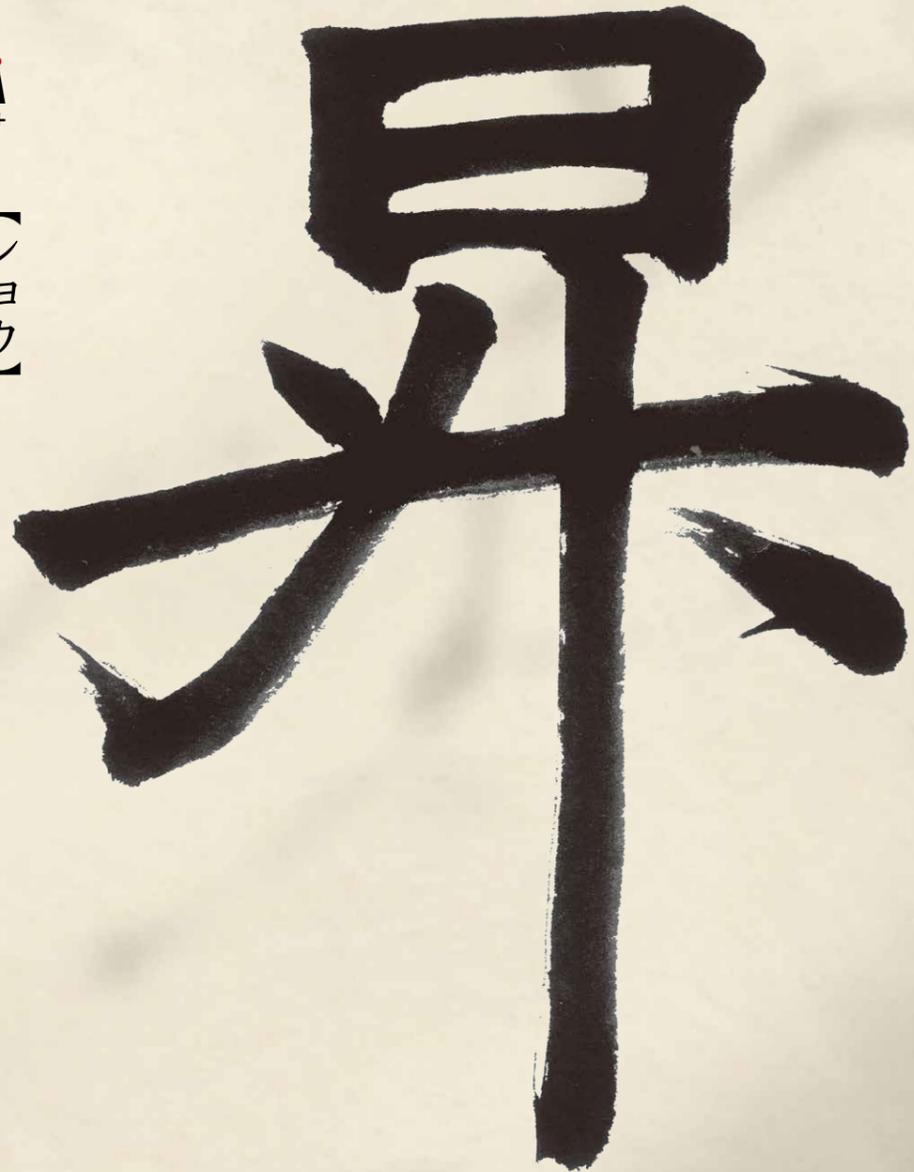
- | ばあちゃん | じいちゃん | 母ちゃん | ワンちゃん | 息子ちゃん | 父ちゃん |
|--|---|--|---|--|---|
| 72歳。母ちゃんの母ちゃん。地元・福岡のことなら何でも知っている。海外からのお客様を案内するボランティアが、最近の生きがい。 | 75歳。母ちゃんの父ちゃん。息子ちゃんの強い味方。ご先祖様の残してくれた土地でアパート経営も。近頃、終活を意識しはじめた。 | 44歳。姉さん女房。国際機関にお勤めの人情味あふれる才女。この度、シンガポール勤務より5年ぶりに帰福。家族団欒を楽しむぞ!! | 年齢不詳。前世はゾウさんだったと思いでいる雑種犬。じいちゃんとの散歩が日課。大濠公園が自分の庭。背番号は「1」である。 | 10歳。福岡の公立の小学4年生。野球に夢中。父ちゃんの弱みを握るしたたかな息子。母ちゃんへの甘え方を忘れてる…。 | 41歳。福岡のITベンチャー企業で、日々、悪戦苦闘する課長さん。つい最近まで、息子ちゃんとふたり暮らし。家事はなんでもこなせるよ。 |

all for family
三好不動産

MIKASA
株式会社 ミカサ

【シヨウ】
のぼる・あがる (上)
たひらか (平)

信奇



社会をつくるのは人、企業をつくるのも人。

社会の多様化にともなう、昨今では国内・業界内の競争から国際・異業種との競争へと経営の環境が変化し、ビジネスにもよりいっそうのスピードとダイナミズムが求められています。急激に変化する現代のような社会で未来への道を拓くのは、常に「理想を失わず、進取の気概を持つ」人材であり、企業です。「社会のために人がしないことをしよう」創業当時のこの先代の言葉に込められた、社会貢献への理想と情熱、あくなき向上心の継承のためにも、当社は常に知識や技術のレベルアップに取り組みやすい企業風土づくりをはじめとしたさまざまな取り組みを行い、優れた人材育成を積極的に進めています。社員一人ひとりの人間的成長は、そのまま企業

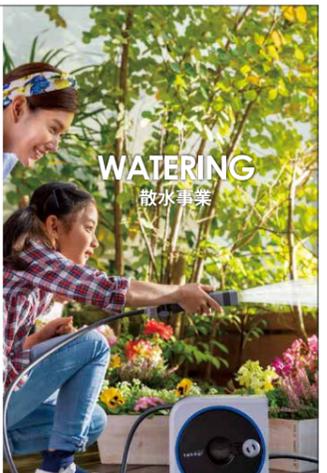
の成長につながります。ひとりひとりの社員が組織の中に埋没することなく「快適環境の提供者として」「快適環境創造のアドバイザーとして」自立したプロフェッショナルであること。それぞれに誇りと自覚を持って行動し、進化し続ける社会のニーズへの的確な対応に全力を尽くすこと。『安心・安全・信頼』をモットーに、地域社会、お客様、そしてともに働く仲間たちのために、感動と新たな喜びを提供できる企業であること。これらを通じて私たちは、今後もさらに「クリーンで美しいまち・快適な建物環境」の創造に取り組んでいきたいと考えています。

みんなの明日を守り社会に貢献します
MIKASA 株式会社 ミカサ

博多区博多駅東1-16-14 6F ☎092-431-3829

ミカサ ビルメン

検索



自然の力で環境にやさしい
エネルギーを生み出す。

発電時にCO₂を排出しない再生可能エネルギー。
九電グループは、九州の環境を守るため、
地熱、風力、太陽光、水力など豊かな自然を活用した
再生可能エネルギーの開発・拡大に取り組んでいます。

九州各地の豊かな自然と雄大な景色にも注目のWEB動画
「みらいに、全力。(再生可能エネルギー篇)」公開中!



takagi

株式会社タカギ

〒802-8540 北九州市小倉南区石田南 2-4-1
http://www.takagi.co.jp/

その他キャンプを支えてくださった皆さま

(有)鶴田商事	三角商事株式会社(ルミエール)
コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社	西新初喜
株式会社レイメイ藤井	ELSA
株式会社LIXIL	九州朝日放送株式会社(KBC)
株式会社福岡銀行	株式会社タケノ
株式会社西日本シティ銀行	株式会社西日本新聞社
株式会社鷺海博多織工場	株式会社九州博報堂
DMM.英会話	学校法人 立花学園 立花高等学校
ヤマエ食品工業株式会社	株式会社アメイズ(HOTEL AZ)

- 名称／福岡未来創造キャンプ On Your Mark! 2022 Spring
 日時／2022年3月22日(火)～3月26日(土)[4泊5日]
 場所／学校法人 立花学園 立花高等学校[福岡市東区和白丘]
 宿泊／HOTEL AZ 福岡和白店[福岡市東区和白丘]
 参加人数／高校生:46名 海外の大学生:15名 九州の大学生・留学生:21名
 主催／福岡未来創造キャンプ実行委員会
 主管／一般社団法人 福岡県中小企業経営者協会連合会
 大会会長／一般社団法人 福岡県中小企業経営者協会連合会 会長／小林 専司
 顧問／●福岡県知事／服部 誠太郎 ●元福岡県知事／麻生 渡 ●福岡市長／高島 宗一郎
 ●久留米市長／原口 新五 ●参議院議員／松山 まさじ ●福岡県議会議員／加地 邦雄
 ●福岡県教育委員会 教育庁／吉田 法稔 ●福岡県私学協会会長／八尋 太郎
 ●学校法人 中村学園 理事長／中村 量一
 共催／公益財団法人 福岡県教育文化奨学財団

協力企業・団体紹介

Cooperating Companies/Organizations

後援団体・助成団体(順不同・敬称略)

- 福岡県 ●福岡市 ●アメリカ領事館 ●福岡県教育委員会 ●福岡市教育委員会 ●北九州市
- 北九州市教育委員会 ●久留米市 ●久留米市教育委員会 ●福岡県私学協会
- 一般社団法人 福岡県私学教育振興会 ●一般社団法人 福岡青年会議所
- NPO法人 アジア太平洋こども会議・イン福岡 ●九州大学 ●九州朝日放送株式会社(KBC)
- 株式会社西日本新聞社 ●ウォータードラゴン財団

運営協力(順不同・敬称略)

- SPRINK株式会社 ●合同会社 HAKO ●小田 憲和(映画監督)

協賛企業

詳しくはP.23～P.27をご覧ください。

お問い合わせ

一社)福岡県中小企業経営者協会連合会

〒810-0001 福岡市中央区天神1丁目4-2 エルガーラ6F
 TEL/092-753-8877 FAX/092-753-8870
 E-mail/onyourmark.fukuoka.info@gmail.com